ＤＪ－Ｘ８１　エキスパート・モードについて

（エキスパート・モードについては説明書Ｐ．６２も合わせてお読みください。）

ＶＦＯモードでＦＵＮＣキーを長押ししてキーロック状態にして、そのまま引き続きＦＵＮＣキーを６回押すとエキスパート・モードとなり、セットモードのサブメニューに説明書には書かれていない項目が追加されます。以下、その機能についてご説明します。
＊[ ]内のパラメータが初期値です。
＊DJ-X81 液晶上のアルファベット表示は通常のフォントでは表せないため、本書ではなるべく似たように見える文字で置き換えています。

①メインメニュー[DISP]表示設定：

・ SCnLnP [OFF] / ON
スキャン中、スキャンが止まって受信している間、液晶の照明を点灯させたいときはＯＮにします。通常より多く電池を消耗しますが、暗い場所での受信には便利です。

・ bSdisp [SET]/ RUN
バッテリーセーブの BS アイコンを、ＢＳ機能が実際に働いているときだけ表示させたいときは RUN を選びます。この機能をＲＵＮにすると、スキャン中などＢＳが動いていないときはＢＳアイコンが消えます。車や家電の「エコモード表示」にヒントを得たパラメータです。

・ GrEEn [ON]/OFF
スケルチが開いたときに光る緑のＬＥＤを常に消したいときは OFF にします。放送を聞くなど長い時間ＬＥＤが点灯したままになるときは、ＯＦＦにすると僅かでもバッテリー消費を少なくすることができます。

・ TurSSi [OFF]/ON
地デジＴＶ音声受信中に表示される時計の代わりに、地デジの受信信号強度を表す RSSI 値を-72.500 のように表示します。マイナスの後ろの数字が小さいほど信号が強いことを表します。

②メインメニュー[POW]電源設定：

・ CHGtin [10]～1
充電時間のタイマーを初期値よりも短縮したいときに使います。通常は変更する必要はありませんが、本来ニッケル水素電池には好ましくない継ぎ足し充電を敢えてひんぱんに行うユーザーの場合、１０時間のタイマーでは過充電気味になることがあります。これを意識的に管理できるような上級ユーザー向けに設けた項目です。

③メインメニュー[Ｒｘ]受信設定：

・　AbAr [ON]/OFF　ＯＦＦは内蔵AM放送受信用バーアンテナを使わない

・　SbAr [ON]/OFF　ＯＦＦは内蔵短波放送受信用バーアンテナを使わない

※　これらはＯＦＦにすることで得られるメリットは事実上、ありません。常にＯＮにしておいてください。この項目は、主に弊社のサービスセンターでの、メンテナンス用途のために残しています。

・　PrESEt [AFTM]/表示無し、Ａ，Ｆ…他全１６通り

プリセットモードで聞きたいバンドの組み合わせが選べます。ＡはAM放送、ＦはＦＭ放送、ＴはＴＶ音声、ＭはＶＨＦマリンチャンネルです。例えば内陸のユーザーはマリンバンドを日常聞くことができないので、AFTを選ぶことでマリンバンドを隠せます。プリセットモード自体を使わないときは、何も表示されない状態を選んでください。

④メインメニュー[MRN]国際ＶＨＦの設定：

・　16HLD [PUSH]/HOLD

プリセットモードでマリンバンドを受信中、チャンネルにかかわらずドットキーを押している間１６ｃｈを受信できますが、ドットキーを一度押すと１６ｃｈ受信、もう一度押すと解除、にしたいときはＨＯＬＤを選びます。ドットキーを押して１６ｃｈホールドを解除しないとダイヤルを回してもチャンネルが変わらないのでご注意ください。

⑤メインメニュー[KEY]キー操作設定：

・　UP-dn [DISABL]/ENABLE

ENT/VPMをアップキー、ダウンキーに割り当てたいときはENABLEを選びます。周波数の上下などに、ダイヤルやキー入力ではなく、どうしてもアップダウンキーの操作感が欲しい、という声にお応えしたものです。ＶＰM切り替えは、ＶＰMボタンを押しながらダイヤルを回すことで行えます。バンド切り替えは、ＥＮＴボタンを押しながらダイヤルを回してください。

・　SEtnod [MANUAL]/5～25SEC

初期値のＭＡＮＵＡＬ状態では、手動でＦＵＮＣキーを押すまでセットモード状態を保持しますが、自動で設定を確定してセットモードから抜けるようにできます。キー操作をしなくなってからセットモードを抜けるまでの時間を５～２５秒から選べます。

・　bAnd [ACROSS]/ROTATE

スキャン中、VFOモードのバンドエッジまでくると次のバンド区分へそのまま移動するか、バンド内でスキャンするかを選べます。後者を選ぶときはＲＯＴＡＴＥにします。例えばＶＨＦエアバンドの帯域だけをＶＦＯスキャンしたい、というようなときに便利です。

・ LCtinE [2-SEC]/500ms～3-SEC

キーロックを掛けるためにＦＵＮＣキーを長押しする時間を0.5～３秒の間で変えられます。初期値は２秒です。

⑥メインメニュー[ＭＲ]メモリー設定：

・ dUP-At [ON]/OFF クイックメモリーバンク（ＡＴバンク）に、同じ周波数を重複して書き込むことを初期値では可能にしていますが、重複登録させないようにしたければＯＦＦを選びます。

⑦メインメニュー[ＳＮＤ]音設定：

・ PoPCUt [OFF]/ON

　Ｏｎを選ぶとキー操作やスケルチが閉じるとき、プツッという音（ポップ音）が鳴るのを軽減できます。オーディオアンプ回路を常にＯＮにした状態になるので、無音時にサーというバックノイズが乗るのとバッテリー消費が増えるので、実用にはお勧めできない設定です。実験的に採用しましたが、通常はオフでお使いください。

【ご注意】

ファームウエアの更新があると、機能が増減することがあります。そのときはこの説明書も更新します。

以上

アルインコ（株）電子事業部